

## ニュース News

# 2008年度IEEE AP-S Japan Chapter「Young Engineer Award」受賞 「Young Engineer Award」 of IEEE AP-S Japan Chapter (2008)

研究開発本部 技術開発部アンテナグループの常光 康弘氏は、2008年12月11日にIEEE Antenna & Propagation Societyより、「2008 IEEE AP-S Japan Chapter Young Engineer Award」を受賞し、賞状と賞金が授与されました。

IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) は、アメリカ合衆国に本部を置く電気電子学会です。

IEEE Antenna & Propagation Societyは、新しい情報通信社会を創造するべく、様々な無線システムに関する研究発表・報告と活発な討議を通して世界中の研究者、技術者および利用者相互間の交流・啓発の場として活動しています。

受賞式の公式インターネット記事

[http://www.nda.ac.jp/~naobumi/ap-s/YEA/yea\\_happyo2008.htm](http://www.nda.ac.jp/~naobumi/ap-s/YEA/yea_happyo2008.htm)

IEEE AP-S Japan Chapterが「IEEE Young Engineer Award」として、若手研究者のアンテナ・伝搬に関する研究奨励と研究意欲向上のため、査読付きの優れた英語論文を論文誌に掲載した第1著者に対し表彰を行います。毎年2名～3名程度が大学及び企業の研究者より選ばれ、当社としても初めての受賞になりました。

なお、常光氏の受賞対象の論文は次の2編です。

英語論文誌掲載テーマ

1. "Reduction of Aperture Blockage in the Center-Feed Alternating-Phase Fed Single-Layer Slotted Waveguide Array Antenna by E- to H-Plane Cross-Junction Power Dividers," IEEE Trans. Antennas Propag., vol.56, no.6, pp.1787-1790, June 2008.
2. "The Ridged Cross-Junction Multiple-Way Power Divider for Small Blockage and Symmetrical Slot Arrangement in the Center Feed Single-Layer Slotted Waveguide Array," IEICE Trans. Commun., vol.E91-B, no.6, pp.1767-1772, June 2008.

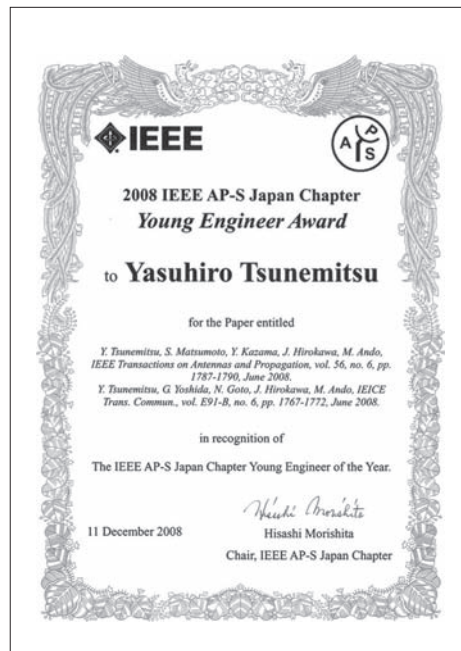
1. の内容は、従来の中央給電逆相一層構造導波管スロットアレーアンテナの構造を改善し、アンテナ利得向上を実現したものです。この優れた発明（平成21年に特許登録）により、準ミリ波帯・ミリ波帯の領域においても低損失のアンテナを実現できるようになりました。現在、再び脚光を浴びているミリ波新時代の波にのるアンテナの1つとし

て実用化・商用化が期待されます。

2. の内容は、東京工業大学と当社の総務省委託研究成果の1つです。新複信方式のPDD (Polarization Division Duplex:偏波分割複信) に対応した隣接配置送受信アンテナにおいて極めて高いアイソレーション特性が得られる構造を電磁界解析により示しています。

これらの研究は、常光氏が当社の国内留学制度により東京工業大学の社会人博士課程に進学し、安藤 真 教授、広川 二郎 准教授の御指導のもとで行ったものです。また、後藤 尚久 先生（東京工業大学名誉教授・拓殖大学名誉教授）による助言を頂きました。

本人のコメントです。「皆様の多大なるご協力により、光栄にも2008 IEEE AP-S Japan Chapter Young Engineer Awardを受賞致しました。世界に貢献できるよう、私に出来ることをしようと決意を新たにす所存です。皆様に感謝致します」



「IEEE Young Engineer Award」